

2 各部の基本納まり図

2-6 開口部

⑦ インナーシール工法

6) 施工手順 ※当手順は横張り施工例

手順① 防水紙・胴縁の施工

- 開口部周りには、両面防水テープを必ず使用し、防水紙を施工します。
- 開口部まわりの胴縁は、幅90mmサイズを使用し、サッシフィン避けて（サッシと胴縁が20～30mm程度離れている状態）施工します。



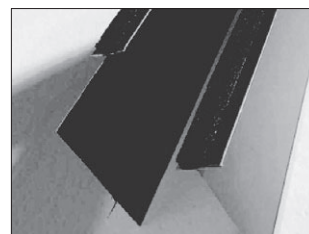
胴縁組み

手順② 鋼板止水部材(下側)の施工

- 開口下側に鋼板止水部材を取り付けます。
- サッシ横の面に合わせ、部材両端のT字部を切断加工します。
(鋼板止水部材の加工方法 P60)
- EPDM材が十分圧縮されるように、部材をサッシ面に押しつけながら胴縁に留め付けます。(鋼板止水部材の留め付け 下記)

※サッシの横面から部材のT字部が飛び出ないように留め付けます。

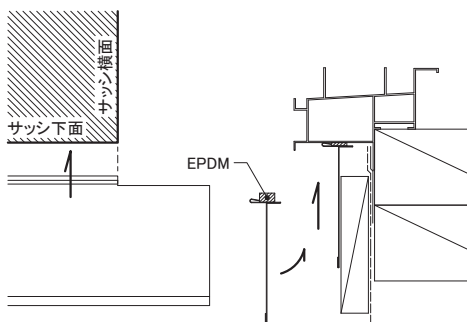
※部材を継ぐ場合は(上側は禁止)、EPDM部が途切れないように突き付け、接合部に後述の捨てシーリングを施工します。



部材両端の切断加工



EPDMを十分圧縮する



開口下に鋼板下地部材の取り付け

<共通 鋼板止水部材の留め付け>

- EPDM材が十分圧縮されるように部材をサッシ面に押しつけながら、胴縁に留め付けます。
- 専用釘(ステンレスリング釘φ2.3mm×38mm)で455mm以下の間隔で留め付けます。EPDM部が浮く場合は適宜増し打ちしてください。

